令和４年度モニタリングシート

【施設名等】

施　設　名	大洲家族旅行村 オートキャンプ場	位　置	大洲市菅田町大竹乙 938-1
指定管理者名	株式会社おおず家族村	所管課	観光まちづくり課

【施設の概要】

設置年月日	平成２年４月１日	構　造	木造平屋建ほか公園施設
設置目的	恵まれた自然環境の中で、家族や小グループが楽しめる観光レクリエーションの場を確保し、もって健康及び福祉の増進と地域振興に資する。		
施設機能	オートキャンプ場 ・キャンプサイト　１６サイト（うち電源付き２サイト） ・コテージ　２棟（６人用）、２棟（８人用） ・管理舎　・炊事棟　・便所　・帯施設　車路、バーベキュー施設、倉庫等 ピクニック緑地 ・スロープガーデン　・じゃぶじゃぶ池　・ファミリー園地 ・ファミリーガーデン（果樹園、園路、東屋２基） ・見晴らし広場　・ちびっ子広場 ・管理棟（事務所、便所、休憩室、機械室）		
利用料金等	テントサイト１サイト 2,200 円　コテージ 6 人用 11,000 円～ コテージ 8 人用 13,200 円～　その他レンタル用品、販売品など		
開館・閉館	営業時間 8：30～17：00　　ただし利用者のいる場合は 24 時間常駐		
指定管理 業務内容	(1)　施設の管理運営に関すること (2)　施設及び設備並びに備品の維持管理に関すること (3)　誘致及び施設の利用促進に関すること (4)　施設の利用許可に関すること (5)　利用料等の収受に関すること (6)　情報発信事業に関すること (7)　施設賠償責任保険に加入すること (8)　利用者の安全の確保に関すること (9)　個人情報保護に関すること (10)　業務報告に関すること (11)　その他管理運営に関し必要な業務		
施設管理体制	常勤２名　パート２名　宿直パート１名		

【施設利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
R 3 年度	449 人	240 人	285 人	348 人	527 人	296 人
R 4 年度	602 人	438 人	154 人	301 人	709 人	199 人
比　較	+153 人	+198 人	▲131 人	▲47 人	+182 人	▲97 人
10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
256 人	511 人	263 人	158 人	166 人	428 人	3,927 人
343 人	484 人	201 人	207 人	171 人	350 人	4,159 人
+87 人	▲27 人	▲62 人	+49 人	+5 人	▲78 人	+232 人

【指定管理者としての収入・支出（決算)】

単位:円（税込）

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	8,558,000	仕入高	585,800
売上高	7,722,160	人件費	8,810,020
自販機売上	209,000	水光熱費	2,014,200
利息	22	通信費	113,133
		消耗品費	558,281
		修繕費	508,071
		その他経費	4,409,102
合計	16,489,182	合計	16,998,607

【サービス向上に向けた取り組み】

H22 年度～H30 年度	指定管理者になってからの新規サービス（毎年継続実施） 春、秋の無料開放イベントの開催/「手ぶらで～プラン」各種の実施/バーベキュー食材、いもたきセットなどの各種食材の販売/地元住民向けの施設貸切利用特別料金/ブルーベリーの植え付け他定期的に苗木の植樹/冬場コテージにファンヒーター、土鍋などを設置/ホームページ、Facebook の開設
R2 年度	コロナ感染対策（消毒液配置、使い捨てスリッパ設置、除菌清掃など） キャンパー向けサービスとして、キャンプステッカーボード設置、肱川トーチ販売、焚き火台、竹灯籠用キャンドル購入など 焙煎珈琲の販売、電子レンジとケトル設置
R3 年度	無料開放イベント年３回開催、四国アウトドアスタンプラリー参加 キャンプ場文庫開設（無料貸出しなど)、コテージテラスに防火シート設置
R4 年度	南予きずな博きずなカード特典サービス DIY 工作キット販売開始 銘柄まき、まき割台販売開始 Paypay 払い対応開始、キャッシュレス決済対応準備（次年度 6 月開始予定）

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望への対応
今年度もコロナ感染予防のため年間通してテントサイトの受け入れ数を限定した。サイトの隣は空けるようにし空間スペースを設けて、利用者にはおおむね好評だった。また消毒やマスクの着用など感染防止にもご協力をいただいた。 夜間に騒がしくないよう定期巡回や注意喚起をおこない防止に努めた。(年間をとおして数件程度の苦情はあったが少なくなってきている。) 例年問題となる外注対策も（カメムシ、ムカデ、アリ、スズメバチなど）早めに防虫剤を散布するなどの対策をとった。カメムシについては、多少の苦情はあったが昨年度よりは少なくなった。

【指定管理者の自己検証】

今年度もコロナウィルスの影響を受けた一年ではあったが、コロナ感染者が減り始めた年明けごろから県外の利用者の予約が増え始めた。またこれからの行楽シーズンに向けて団体でのバーベキューの予約も入り始めている。ただ当面はこれまでと同様にテントサイトは十分な区間スペースを設けるなどして、受け入れ制限を継続する予定にしている。

最近のキャンプブームの影響で、シーズンを問わず予約が増えており、週末はお断りすることも多くなっている。利用制限をしているにも関わらず今年度の売り上げはこれまでで最高額となった。ただ平日を含め常に利用者がいる状況が続くため、キャンプ場の草刈などの作業が遅れることが多くなっており苦慮している。また最近はキャンプ形態の多様化にともないあまり広い場所を必要としないソロキャンプが多い反面、ファミリーなどでの利用はテントが大型化しているためサイトに収まらないケースも増えてきている。今後はテントサイトの区画の見直しや料金の変更なども検討しなければならない。

今年１月からは PayPay 支払決済サービスを開始した。次年度からは本格的にキャッシュレス決済の導入をする予定にしている。またこれから増えるであろう EV 車に対応した EV 充電器の設置も進めていきたい。

【施設所管課の検証・評価】

備品管理及び修繕について写真付きの台帳に整理しているほか、緊急時の連絡体制が確保され、マニュアル等も充実しており、施設の管理運営について適切に行っている。

コロナ禍より続いているキャンプブームにより、シーズンを問わず予約が増えており、リピーターを含め根強いファンは多い。一方で、キャンプ形態も多様化しているため、ニーズに応えるためにも、今後はテントサイトの区画の見直しや変更などを検討されたい。

キャッシュレス決済の導入や EV 充電器の設置を進める等、利用者の満足度向上のために努力されていることが伺える。今後も利用者を一番に考えた管理運営を行っていただきたい。